

事例を通して考える地域医療構想

地域医療構想と手稲区・西区の現状と取り組み

医療のあり方や人口構造の変化に対応し、今後必要となるリハビリテーションや在宅医療の確保など、バランスの取れた医療提供体制を構築することを目指し、医療計画の一環として平成28年には「北海道地域医療構想」が策定されました。

北海道の22圏域ごとに、2025年における病床の機能区分（高度急性期、急性期、回復期及び慢性期）ごとの必要量を定め、その実現に向け、（1）病床機能の分化及び連携の促進、（2）在宅医療等の充実、（3）医療・介護従事者の確保・養成等の施策の方向性を示すものです。

また、本構想は、地域ごとに考え目指す姿を共有するとともに、構想策定後も、その実現に向け関係者が協力して取り組むための中長期的な枠組みであり、引き続き各地域に設置している「地域医療構想調整会議」等の場で協議を行っていくこととされています。

本研修は、第1部で北海道医師会 副会長 藤原秀俊さんより、全般的な「北海道地域医療構想」並びに札幌圏域を対象とした「札幌区域地域医療構想」について解説をいただき、第2部では手稲区・西区での現状を事例を通じ、地域医療の現状と取り組みを、参加者の中で共有し共通認識を醸成することを目的としています。

-プログラム-

- ▶ **開会挨拶** (18:30)
札幌市医師会 手稲区支部長 成松 直人さん(札幌緑誠病院院長)
- ▶ **第1部 基調講演「地域医療構想」について**
北海道医師会 副会長 藤原 秀俊さん(医療法人秀友会理事長)
- ▶ **第2部 手稲区・西区からの報告**
 - ①手稲区での現状と事例を通して考える地域医療構想
サ高住に居住する高齢女性が肺炎を発端に入退院を繰り返す中で、空床情報サービス”T@Bed”・地域連携パスが有効に活用された事例
 - ②西区での現状と事例を通して考える地域医療構想
西太郎さんが急性期・リハビリ・看取りの各場面で、後方支援病院・老人保健施設・訪問診療が活用された事例
- ▶ **意見交換**
第1部・第2部を通じての意見交換と質疑応答
- ▶ **閉会挨拶** (20:25)
札幌市医師会 西区支部長 嵐 方之さん(札幌第一病院院長)

日時：平成29年5月16日(火曜) 18:30~20:30 (18:00開場)

会場：ちえりあ 1F ホール (札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 地下鉄宮の沢駅直結)

申込み：不要・直接会場にお越しください

参加費：無料

その他：お車で来場の際は、西友宮の沢店駐車場をご利用ください

問合せ：手稲区在宅ケア連絡会 幹事 岩間 電話 011-685-3500(秀友会病院)

西区在宅ケア連絡会 幹事 出井 メール info@zaitaku-care.info